HAPP
Hosei Accounting Profession Program

申込・規約

申込方法

① 講座申込専用 Web サイトから申込み

https://kagai-kouza.hosei.ac.jp にアクセスし、受講希望講座を選択して、必要事項を入力の上、申込みます（初回申込み時は、受講生登録が必要ですが、今までに講座を申込みされた方は登録不要です）。

【講座申込専用Webサイト】
https://kagai-kouza.hosei.ac.jp

② 受講料のお支払い

申込日より７日間以内に、下記のいずれかの方法で受講料をお支払いください。

お支払い方法
（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアー、セイコーマート、Pay-easy、楽天銀行、PayPay銀行、PAYSLE）

③ テキスト配布・受講開始

受講料の入金が確認できた方に、初回講義でテキスト等を配布します。状況によりテキストを郵送する場合もあります。
※受講料払込時の控や確認メールなどをご用意ください。

※3･2級コース･2級コースは4月、1級コースは8月に申込受付を行います。

講座申込規約（会計専門職講座）

法政大学高度会計人育成センターが主催する講座の申込にあたっては、以下の申込規約に従っていただくことになります。予め内容を確認され、ご理解いただいた上でお申込みください。また、当規約に定めのないものについては、講座パンフレットや各講座内で配布する「受講ガイド」等の定めによるものとします。

1．受講条件について
（1）法政大学在学中の方（学則で定める特別学生及び通信教育課程の科目等履修生は除く）に限り受講できます。
（2）受講中に、退学、中退等により法政大学の学籍を喪失した場合、継続受講はできません。その場合、受講料の返金はいたしません。ただし、受講期間中に法政大学を卒業・修了をした場合は、講座終了時まで受講できます。
（3）複数キャンパスで同内容の講座が開講されている場合、いずれかのキャンパスでのみ受講できます（キャンパス間の相互受講はできません）。
（4）簿記３･2級コースを受講する場合は、別途、当該年度に実施される日商簿記検定試験（３級）の申込および受験が必要です。
（5）公認会計士接続コース（提携専門学校通学　以下、接続コースという）は、公認会計士接続コース（学内講義　以下、学内講義という）受講者に限り、特別割引価格で受講できます。ただし、法政大学高度会計人育成センター運営委員会の議により、学内講義を経由せずに接続コースの早期受講を認める場合があります。その場合、学内講義生としての登録が必要となるため、学内講義受講料相当額を登録料として法政大学にお支払いいただきます。
（6）過年度に接続コースを受講した方が、合格目標年度を変えて再度接続コースを受講する場合、合格目標年度に応じたテキストが必要となります。一部テキスト（財務会計論･管理会計論）は学内１級講座で配布・使用するため、提携先専門学校に支払う接続コース受講料とは別に、学内講義受講料（テキスト代相当額）を法政大学に支払い、当該年度用のテキストを受領する必要があります。

2．講座申込について
（1）講座申込専用Webサイトから、申込受付期間内にお申込みください。
（2）申込は先着順です。申込者数の状況により、申込受付を締め切る場合があります。
（3）所属キャンパス以外で開講されている講座の申込は可能です（多摩キャンパス学生が市ヶ谷キャンパスの開講講座に申込む等）。
（4）申込日から７日以内（申込日含まず）に受講料のお支払いがない場合は、講座の申込は無効となります。

3．受講料について
（1）受講料は、大学が指定する方法で、所定の期日までにお支払いください。
（2）支払の証明（払込控等）は必ず保管・保存し、受講の際には携帯してください。
（3）受講料の分割払や延納はできません。

4．キャンセル･返金について
（1）各講座の開講日前であれば、申込者からの申し出により、キャンセル・返金に対応いたします。テキスト等の配布物を受領済の場合は、ご返却いただきます。
（2）講座開講後は、理由の如何を問わず、キャンセルによる返金はいたしません。

5．開講中止について
受講申込者がいない場合は、開講を中止する場合があります。

6．講座運営について
（1）災害（地震、火災、台風等）、交通機関の運休・遅延、講師の急病、その他やむを得ない事情により、休講、講義日時・講師・教室の変更が生じる場合があります。
（2）受講途中であっても、講義内容の追加・修正、担当講師・使用テキストの変更が生じる場合があります。
（3）開講中、やむを得ない事情により、講座の継続運営が困難となった場合は、未受講相当分の受講料を返金いたします。

7．著作権について
（1）受講者に提供する教材等（テキスト、レジュメ等）に関する著作権、その他知的財産権は、法政大学が講座実施を委託する業者、または権利者に帰属しており、受講者自身が学習する目的以外に使用または複製することはできません。
（2）教材等の複製物を第三者に販売、贈与および貸与することは、方法・理由の如何を問わず一切できません。
（3）講義内容（Web講義含む）等を収録（録画・録音等）し、受講者自身の学習以外の目的で使用することはできません。
（4）上記（1）～（3）に違反した場合は、直ちに差し止めを求め、法的措置を講じます。

8．Web視聴期限について
各コースに付帯しているWeb講義の視聴期限は、理由の如何を問わず延長できません。

9．個人情報の取扱いについて
お預かりした個人情報は、法政大学及び法政大学が講座を委託する業者が当該講座運営のみに使用し、他の目的には使用しません。

10．施行日
2023年3月1日施行

法政大学高度会計人育成センター

特定商取引法に基づく表記

販売者	学校法人法政大学	販売責任者	常務理事　平山喜雄
所在地	102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1	電話番号	03-3264-9330
メールアドレス	contact-a@ml.hosei.ac.jp	支払方法	ペーパーレス決済 （セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアー、セイコーマート、Pay-easy、楽天銀行、PayPay銀行、PAYSLE）

返金・キャンセル等

・各講座の開講日前であれば、申込者からの申し出により、キャンセル・返金に対応いたします。テキスト等の配布物を受領済の場合は、すべてご返却いただきます。
・講座開講後は、理由の如何を問わず、キャンセルによる返金はいたしません。　・退学・除籍等により学籍を持たなくなった場合、継続受講はできません。また、受講料の返金もいたしません。

お問い合わせ

講座内容・受講申込について

法政大学高度会計人育成センター　市ヶ谷キャンパス 外濠校舎２階キャリアセンター内
TEL：03-3264-9330　メール：contact-a@ml.hosei.ac.jp
受付時間：月～金 9：00～11：30　12：30～17：00

HAPP
Hosei Accounting Profession Program

法政大学会計専門職講座 2023

高度会計人育成センターの紹介

HAPP
Hosei Accounting Profession Program

高度会計人育成センターは、公認会計士をはじめとする高度会計人を目指す学生の育成を目的として、2014年4月に設立されました。当センターでは、それまでの伝統と実績のある「公認会計士講座」を新たに「会計専門職講座」（HAPP：Hosei Accounting Profession Program）として発展させ、全ての会計専門職に不可欠な知識である簿記を学びながら公認会計士試験等の合格に必要な基礎力を身に付けるためのカリキュラムを提供しています。また、講座の充実を図りながら、会計専門職として活躍する多くの卒業生とも連携し、一層の支援強化を進めています。

contents

簿記取得のメリット …… P03
公認会計士の魅力 …… P04
HAPPの特徴 …… P06
HAPPカリキュラム …… P08
合格者の声 …… P10
簿記と関連性の高い資格 …… P11

簿記取得のメリット

日商簿記3級

日商簿記3級では企業が日々行う経済活動を帳簿に記録し、報告書をまとめていくための一連の処理手続き（ルール）を学習します。簿記は世界共通のビジネス言語と呼ばれるため、3級で学習した知識があれば、企業の経営状況を客観的に評価しながら、就職活動を進めることができます。

また、日商簿記3級で学習する内容は、上位級を目指すためにも重要な内容となります。まずは、日商簿記3級試験の合格を目標にし、続けて日商簿記2級試験合格を目指しましょう。そのためには、日商簿記3級の内容を漏れなく学習することが大変重要です。

日商簿記2級

日商簿記2級は、企業が社員に求める資格で常に上位にランクされます。その2級を取得することは、就職活動の際、自分をPRする1つの武器となります。

また、最近の日商簿記2級試験は、実務に沿った内容が出題されるため、実務レベルの簿記を理解できていることを証明できます。「実務」というと経理の仕事をイメージするかもしれませんが、銀行や証券会社などの業務でも日商簿記2級の知識を必要とします。そのため、経理以外でも様々な職種で日商簿記2級の知識を活かすことができます。

大学在学中にこの日商簿記2級の取得をオススメします。

日商簿記1級

日商簿記検定の企業認知度は大変高く、1級まで取得することは非常に大きな自己アピールとなります。公認会計士や税理士の資格を目指す方にとっても、知識をそのまま活かせるため学習に相当のアドバンテージとなります。

また、日商簿記1級は難関資格のひとつであるため、就職活動の際にも、日商簿記2級よりもはるかに大きなセールスポイントになります。

会計系の上位資格「公認会計士」の魅力は次のページ

指定試験合格者奨励金について

本学学部に在籍中に公認会計士試験、税理士試験（全科目合格）に合格した方には、大学から奨励金（40万円）を支給する制度があります。

※申請は合格した年度に限ります。
※論文式試験合格年度の春学期または秋学期休学者は20万円です。なお、年間休学者は対象外です。

短答式試験合格者奨励金について

本学在籍中に公認会計士試験短答式試験に合格した方には、奨励金（10万円）を支給する制度があります。

※高度会計人育成センター独自の制度で、会計専門職講座受講生に限ります。
※本奨励金受給後に論文式試験に合格した方は、上記「指定試験合格者奨励金」40万円のうち差額の30万円を受給することとなります（論文式試験合格年度の春学期または秋学期休学者は15万円で、年間休学者は対象外です）。

公認会計士の魅力とは？

HAPP
Hosei Accounting Profession Program

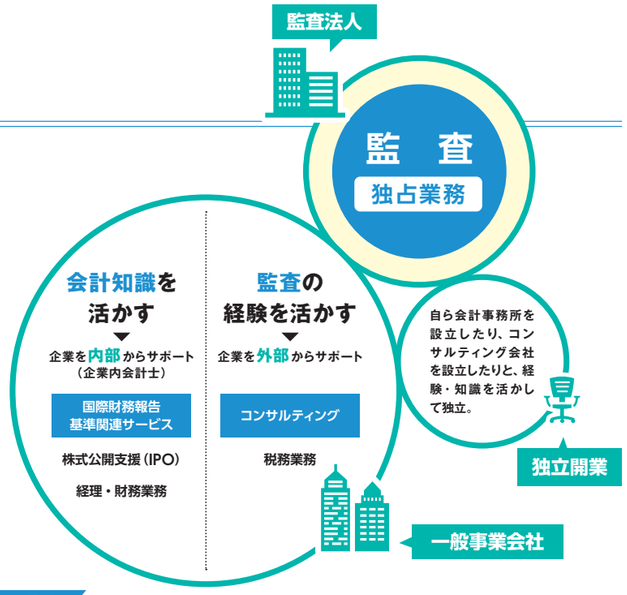
公認会計士の魅力 1

将来性・安定性！

ますます広がる ビジネスフィールド！

独占業務である監査業務をはじめとして、学習を通じて得た高度な会計に関する知識やスキルは、企業の規模・業種を問わず役立ちます。そのため、公認会計士のビジネスフィールドは非常に多岐に渡ります。
また、その専門性の高さにより、AIに代替されることもない仕事とも言われています（右記コラム参照）。

公認会計士登録後、
税理士・行政書士としても
活躍することが可能



コラム

「公認会計士の仕事はAIに取って代わられる」ことはない!!

公認会計士の仕事は将来AIに代替される、という話を聞いたことがある人もいるかもしれませんが、AIが公認会計士の仕事にとって代わられることはありません。
公認会計士の仕事は、高度な会計に関する知識を活かした各種コンサルティング業務や株式上場支援など幅広いものです。AIが導入されることで単純な計算などの業務が減るため、より高度な専門性が求められる業務に集中することになります。

公認会計士の魅力 2

社会的地位の高さ！

監査業務は、企業の活動と市場経済の信用を支え、社会に貢献する仕事！

公認会計士は、企業の活動と市場経済を支える会計、その情報の信頼性を確保する監査を通じて、利害関係者を保護し、国民経済の健全な発展に寄与するという極めて重要な使命を担っています。公認会計士は、財務諸表監査を通じて壮大なスケールで社会に貢献できる魅力があります。

一生の資格！ 難関だからこそ、目指す価値がある！

公認会計士は、医師や弁護士と並び三大国家資格と言われている難関国家資格です。しかし、難関だからこそ、公認会計士はチャレンジする価値があり、ライバルと差をつけることができる資格といえます。

公認会計士の魅力 3

安心の収入！

高い平均年収！ 約1,000万円！

会計のプロフェッショナルとして、クライアントに対して高度な専門知識を提供する公認会計士には、その対価として高い報酬が支払われます。大企業の平均年収が503万円※1であるのに対し、公認会計士は約1,000万円※2の年収を得ることができるのも魅力の１つです。
また、公認会計士が提供する専門知識は勤務年数に応じて増加・蓄積されるのが通常であることからすれば、「年齢」ではなく、「勤務年数」が重要な評価尺度と考えられるため、早く合格するほど収入面でも有利と言えます。

※1 国税庁2018年「民間給与実態統計調査」による。
※2 厚生労働省2017～2019年「賃金構造基本統計調査」における従業員1,000人以上の会社の公認会計士・税理士推定年収（992万円）。なお、本文中の推定年収には、公認会計士のほかに税理士も含まれていますが、両資格とも大きな開きはないと言われているため、ここで紹介しております。

公認会計士の魅力 4

女性が一生輝ける資格！

女性の働き方が多様化する中で、資格取得は個人の可能性を広げる一つの選択肢になります。その中でも、公認会計士は会計に関する高い専門知識や技術を身につけることができるので、資格を活かして生涯活躍していくことができます。ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができる公認会計士だからこそ、仕事だけでなく、より充実した人生を送ることができます。

女性も働きやすい環境！

結婚・出産後も働きやすい！

近年、大手監査法人内では、女性のためのセミナーやワークショップ等を自主的に開催していますので、仕事と家庭の両立方法などが学べ、また女性同士のつながりも築くことができます。さらに結婚や出産、育児等で一時的に仕事を離れたとしても、その後も安心して復帰できる環境が整備されているので、今後のキャリアプランを設計するにあたり柔軟な選択ができる点も会計士のメリットです。

一人の有資格者として、活躍できる！

男女平等！

公認会計士は、男女対等に評価されます。繊細な作業も多い公認会計士の業務は、きめ細かな配慮や気遣いの必要な業務でもあります。
一人の公認会計士として、男女の差を感じることなく幅広く活躍することができるので、有資格者としてキャリアを積み、多方面で将来の可能性を広げることができます。

プライベートと両立できる！

ワークライフバランスが良い

比較的夏期休暇や有給休暇が充実しているので、ワークライフバランスのとれた働き方を実現することができます。
資格の強みを活かして、仕事とプライベートを両立しながら最適なライフプランを築くことができるのも魅力の一つです。

◉ 公認会計士試験大学別合格者数ランキング（公認会計士三田会調べ）

HAPP受講生の在学中合格者数

2016年　9名（100.0%）
2017年　4名（66.6%）
2018年　7名（87.5%）
2019年14名（87.5%）
2020年20名（83.3%）
2021年　8名（61.5%）
2022年16名（76.2%）
（　）内は在学中合格者に占める割合

	2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
1位	慶應義塾大学	187	慶應義塾大学	178	慶應義塾大学	169	慶應義塾大学	183	慶應義塾大学	144
2位	早稲田大学	109	早稲田大学	126	早稲田大学	98	早稲田大学	105	早稲田大学	115
3位	明治大学	86	明治大学	72	中央大学	74	明治大学	81	中央大学 明治大学	77
4位	東京大学	57	中央大学	65	明治大学	60	中央大学	71		
5位	中央大学	54	東京大学	58	立命館大学	52	東京大学	40	東京大学	43
6位	立命館大学	54	立命館大学	49	東京大学	49	京都大学 立命館大学	38	京都大学 立命館大学	39
7位	神戸大学	50	京都大学	41	神戸大学	47				
8位	京都大学	47	神戸大学	38	京都大学	43	神戸大学	36	一橋大学	37
9位	同志社大学	44	大阪大学	36	法政大学	42	法政大学	34	関西学院大学	34
10位	一橋大学	38	一橋大学	35	同志社大学	34	一橋大学		立教大学	32

◉ 法政大学公認会計士試験合格者数（本学独自調べ）

★合格者ランキングトップ10にランクインしていない年も10位圏内に迫る合格者数

※大学院および通信教育課程の出身者も含むため、公認会計士三田会調べの合格者数と差異があります。

2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
28名	25名	42名	34名	21名

★多様な学部・研究科から合格者を輩出（2004年～2022年累計）

※2015年度から募集停止

経営学部	経済学部	法学部	文学部	理工学部（工学部）
307名	151名	50名	23名	20名
社会学部	**キャリアデザイン学部**	**人間環境学部**	**国際文化学部**	**現代福祉学部**
18名	8名	8名	3名	3名
情報科学部	**生命科学部**	**スポーツ健康学部**	**アカウンティング専攻※**	**理工学研究科（工学研究科）**
2名	2名	2名	60名	3名

法政大学会計専門職 講座の特徴

1 個性的で優秀な合格者講師!

HAPPの講師は法政大学卒業生を中心とした公認会計士試験の合格者です。講師自らの受験経験を活かした学習方法やモチベーション管理といった受験生活を乗り切る上で必要となる知識以外のアドバイスもします。さらには、法政大学卒業生の講師だからこそできる法政大学での大学生活もアドバイスできます。また、提携専門学校でも人気の講師ですので、安心して受験に臨むことができます。

2 格安な受講料!

簿記3・2級コースが45,000円、2級コースが35,000円、1級コースが70,000円という格安な受講料で簿記検定合格を目指すことができます。また、受講中に公認会計士試験を目指そうと思った方も、無駄な学習をすることなくスムーズに公認会計士試験の学習に進むことができるHAPP受講生向け公認会計士接続コースが420,000円で用意されています。

※提携専門学校での一般的な受講料は、3・2級講義が約99,000円、2級講義が約83,000円、1級講義が約177,000円、公認会計士用講義が約800,000円です。

3 小さな目標からスタート!

最初から「公認会計士試験合格」という高い目標を掲げている方にとっても、公認会計士試験は長い学習期間を必要とする試験のため、モチベーションの維持が簡単ではありません。
当講座では、最初の目標を「簿記3級合格」、「簿記2級合格」とし、次の目標を「簿記1級合格」、最終的な目標を「公認会計士試験合格」と徐々に難易度の高い試験の合格を目指すカリキュラムになっています。当面の目標を達成したら次のレベルの目標を目指していく積み上げ型の学習方法を採用しているので、最後までモチベーションを維持することが可能です。

4 通学時間の有効活用!

当講座のライブ講義は大学内でハイフレックス型（対面・オンライン併用）で実施しますので、専門学校に通学する通学時間や交通費は全くかかりません。さらには、定期試験や大学祭などの大学行事を最大限に考慮した法政大学生のためのカリキュラムとなっています。大学生活と講座生活を両立することが可能です。

※公認会計士接続コースに進んだ場合は、提携専門学校での受講となります。

5 合格者講師が作成したオリジナル合格教材を使用!

一般には販売されていない提携専門学校の教材を使用します（1級講義使用教材のみ）。この教材は、公認会計士試験および日商簿記検定試験に合格した講師陣が試験傾向を分析し、毎年改訂しています。重要論点の理解を深めることはもちろん、受験を経験した合格者講師が教材作成を担当しているため、受験生の立場に立ったとてもわかりやすい内容になっています。

6 欠席も復習もWebフォローで受講可能!

提携専門学校の講義を収録した映像をWebで視聴することが可能です。講義を欠席してしまったときの補講用として、もう一度確認したい講義内容の復習用として、PCやスマートフォン、タブレット端末で、いつでもどこでも何度でも視聴することができます。

※Webフォローには視聴期限があります。（延長はできません）

7 充実した学習環境

市ヶ谷キャンパス、多摩キャンパスにそれぞれHAPP専用の自習室があります。ロッカーも完備されており、集中して学習できる環境になっています。

※公認会計士接続コースの受講生が対象です（選抜制）。

8 疑問点はすぐに解消!

学習を進める中で生じた疑問を適時に解消していくことが合格への近道です。講義内で講師に聞きそびれたことがあれば、次の講義日まで待たなくてもメールで質問することができます。

9 学習・学生生活相談（個人面談）!

HAPPの講師、法政大学在学中合格者が、学習相談はもちろんのこと、学生生活や将来のことなど、様々な質問に対応します。HAPPの受講生であれば誰でも、利用することができます。学習していて不安なことがあれば、ひとりで悩まずに、気軽に相談することができます。

CURRICULUM

HAPP
Hosei Accounting Profession Program

日商簿記検定試験３級・２級の合格を目指して学習を開始し、その後、１級、公認会計士や税理士などの会計系の上級資格にも挑戦することができるカリキュラムです。簿記の基礎知識となる３級から学習を進めていくので、基礎知識をしっかりと身につけて２級にステップアップし、最終的には１級、公認会計士や税理士などの上級資格にも万全な体勢で臨むことができます。

Webのみ	専用講義＋Web	専用講義＋Web	専用講義＋Web	専用講義＋Web
簿記 3級コース	簿記 3・2級コース	簿記 2級コース	簿記 1級コース	公認会計士 公認会計士接続コース
受講料 10,000円（教材費・消費税込）※３級のみ受講できるコースです（下記スケジュールとは独立して申込を行います）。	受講料 45,000円（教材費・消費税込）※３級と２級セットのコースです。	受講料 35,000円（教材費・消費税込）	受講料 70,000円（教材費・消費税込）	受講料（学内講義） 90,000円（教材費・消費税込） 受講料（提携専門学校通学） 420,000円（教材費・消費税込）

この講座のココがポイント

- Point❶ 就職活動のために、簿記２級まで取得をしたいと思っている人も歓迎！
- Point❷ ３級から講義を実施するため、簿記を初めて学習する方も安心！
- Point❸ ７月、１月の定期試験期間は講義なし！

受講講座の選び方

簿記を初めて学ぶ方、簿記の学習にブランクがある方
→ 3・2級コースを申込み
➡ ❶３級講義 からスタート

簿記3級合格済または同レベルの方
→ 2級コースを申込み（下記どちらかを選択）
➡ ❷２級工業簿記プレ講義 からスタート
➡ ❹２級工業簿記講義 からスタート
※「③２級商業簿記講義」は共通日程です。

簿記1級合格を目指す方
→ １級コースを申込み
➡ ❺１級財務会計論 基礎マスター講義
❻１級管理会計論 基礎マスター講義
からスタート

公認会計士を目指す方
→ 公認会計士接続コース（学内講義）を申込み
➡ ❺公認会計士接続コース（学内講義）財務会計論 基礎マスター講義
❻公認会計士接続コース（学内講義）管理会計論 基礎マスター講義 からスタートし、
❼公認会計士接続コース（学内講義）財務会計論 上級講義
❽公認会計士接続コース（学内講義）管理会計論 上級講義 へ進みます
※併せて、公認会計士接続コース（提携専門学校通学）も受講します。

▶簿記２級取得済の方は、提携専門学校の割引提携講座（簿記１級、公認会計士）の利用も可能です（専門学校への通学、Web受講等）。詳細はお問い合わせください。

大学内実施

1年目 4 April / 5 May / 6 June / 7 July / 8 August / 9 September / 10 October / 11 November / 12 December / 1 January / 2 February / 3 March
2年目 4 April / 5 May / 6 June / 7 July / 8 August / 9 September / 10 October / 11 November / 12 December / 1 January / 2 February / 3 March
3年目 4 April / 5 May / 6 June / 7 July / 8 August

- ❶３級講義（直前対策含む）
- 日商簿記３級検定試験
- ❸２級商業簿記講義
- ❹２級工業簿記講義（直前対策含む）
- 日商簿記２級検定試験
- ❷２級工業簿記プレ講義
- 途中で合流します
- 春学期の講義進度をゆっくり進めるため、大学生活との両立がしやすいです。※３級合格レベル対象
- 日商簿記１級検定試験
- ５月までは、⑤⑥とも１級コースと公認会計士接続コース合同（同教室）で受講します。
- ❺１級財務会計論 基礎マスター講義
- ❻１級管理会計論 基礎マスター講義
- ❼公認会計士接続コース（学内講義）財務会計論 上級講義
- ❽公認会計士接続コース（学内講義）管理会計論 上級講義

イベント

■ 計算特訓［6・10月］
これまでの学習内容の総復習を兼ねて計算問題の演習を行います。自分の弱点と理解度をつかみ、今後の学習計画を見直し、簿記の成績UPにつなげます。

■ 個人面談［8・9月］
夏期休暇期間中に、これまでの学習状況や学習成果を個人ごとに確認しながら担当講師と面談します。講義がない期間の過ごしかや、疑問に思っていることなどを希望者にマンツーマンでアドバイスします。

■ 公開模試大会［11月］
日頃の学習成果を簿記本試験さながらの緊張感で競い合うHAPP共通模試です。成績上位者は、公認会計士法友会※による奨学支援金の受給資格が付与されます。
※公認会計士法友会は、法政大学出身の公認会計士で構成される団体です。

提携専門学校

公認会計士接続コース（提携専門学校通学）

420,000円（教材費・消費税込）

公認会計士を目指す方向けのオリジナルコースです。学内の公認会計士接続コースと並行して受講します。内容や申込時期等、詳細は学内の講義内でお知らせします。

※一般的な受講料は約800,000円です。
※このコースのみを単独で申込・受講することはできません（公認会計士接続コース（学内講義）の申込・受講が必要）。
※合格者奨励金については、03ページをご覧ください。

2年目 11 November / 12 December / 1 January / 2 February / 3 March / 4 April / 5 May / 6 June / 7 July / 8 August / 9 September / 10 October / 11 November / 12 December
3年目 1 January / 2 February / 3 March / 4 April / 5 May / 6 June / 7 July / 8 August

- 公認会計士接続コース（提携専門学校通学）
- 第Ⅰ回 短答式試験
- 第Ⅱ回 短答式試験
- 論文式試験

合格者の声

梅津　駿汰
法政大学経営学部経営戦略学科卒業
※４年次合格

私はHAPPで簿記3級、2級の講義を受講していた際、会計の知識を使って人々の役に立てる公認会計士の魅力をHAPPの講師から聞き、公認会計士に憧れました。また、公認会計士の業務は、監査業務やコンサルティング業務、税理士業務など様々な選択肢があることに魅力を感じました。さらには収入面でも充実しており、家族や周りの人たちを幸せにできると公認会計士の学習を始める決意をしました。
合格のポイントは勉強方法だと思います。
私は、初めて論文式試験を受験した際は、講師に学習方法など聞かず独自のやり方で学習していました。初めて受験した論文式試験では思うような結果が残せず、何が原因か考え、講師に質問する姿勢が足りなかったと思いました。そこで2回に受験する際は、講師に積極的に質問し、学習方法が変わり成績も伸ばすことができました。
論文式試験を受験する方は皆、一生懸命勉強しています。その中で合格レベルに達するためには、正しい学習方法を取ることが必要だと思います。多くの方は、私と同じで「何を相談していいかわからない」、「こんなことは質問するほどじゃない」と勝手な判断をし、講師に質問しないケースが多いと思います。実際、論文式を初めて受験した私もそうでした。
私はもっと講師への質問への壁を低く考えてほしいと思っています。ぜひチューターの方や講師の方に相談に行ってください。チューターや講師は、一生懸命勉強しているのに成績が伸びない人を救いたいと思っています。本当に応援しています。

加賀田　未有
法政大学経営学部経営学科4年
※3年次合格

私は大学在学中に何か大きなことを成し遂げたいと思っていました。公認会計士について興味をもったのは、大学入学時から受講していたHAPPの簿記3級、2級の講座がきっかけでした。そこで公認会計士の将来性や女性が活躍しやすい資格であることなど様々な魅力に惹かれ、合格できたら将来のために大きなことを成し遂げたことになると思い公認会計士を目指すことを決めました。
学習をする中では、スケジュール管理を常にしていました。私は自宅で学習していたためスマホを見ないように紙の手帳を買って、そこに授業や答練の日程、1週間ごとに自分で決めた復習のスケジュールを書き込んで勉強をしていました。これをすることで1日にやることが明確になり、授業から遅れることもなく、また復習の間隔が空きすぎてせっかく勉強した内容を忘れることもほとんどなかったので良かったと思います。
公認会計士試験は合格率などを見るととても難しい試験に思えます。私も、高校3年生の時に初めて公認会計士について知った時は、「頭の良い人が受かる試験なんだろうな」と自分には無理だと思い、まったく目指そうとは思いませんでした。
しかし、合格した今思うことは絶対に受からない試験ではないということです。大変ですが、ちゃんと授業や答練を日程通り受けて、復習をして、たまにはリフレッシュしつつ勉強を継続していけば合格できると思います。頑張ってください。

清水　裕貴
法政大学経営学部経営学科4年
※3年次合格

私は高校生活を送る中で公認会計士という資格を知りました。高校生のころ、漠然と「ビジネス」に興味があり、公認会計士の資格を取れば監査を通じてビジネスモデルを見ることもできるということを知り、目指すことにしました。
受験生活に気をつけていたことはいくつかあります。そのうちの1つが「常に勉強する」という気持ちを持つことです。「在学中一発合格」を目標にし、「起きている時間は勉強をする」ことを実行しました。朝起きてすぐ大学に移動し、下校時刻までHAPPの自習室で勉強し、帰宅したら寝るというサイクルで学習しました。さらに、移動の際はテキストを読んだり、時には耳学をしたり、隙間時間も有効活用しました。
公認会計士試験には才能は不要で必要なことは継続することです。
最後まで勉強を継続できれば必ず合格できます。そして、最後までやり切った事実は、試験でも大きな自信となります。
どうしてもやる気が出ないとき、辛いときに私は、「なぜこの勉強を始めたのか」、「将来この資格を活かしてどんなことをしたいのか」を思い出し、「もう少し頑張ってみよう」と前向きになれたと同時に、「当たり前に勉強ができる環境があることがどれだけありがたいかことなのか」と意識が変わり、「やるしかないじゃないか !」と再認識することができました。感謝の気持ちも忘れずに、頑張ってください。応援しています。

その他資格の紹介

簿記で学習した知識を、他の資格試験の学習にも活かすことができます。
簿記と関連性の高い代表的な資格をご紹介します。

税理士

税理士は、税務相談や税務書類の作成などを行う『税金のプロフェッショナル』です。税理士だけに許された独占業務（税務相談、税務代理、税務書類の作成）のほか、税務・会計の面から企業経営の安定・発展につながるアドバイスを行うコンサルティング業務を通して、企業をサポートする役割も果たします。
簿記の知識は、必須の試験科目である「簿記論」「財務諸表論」はもちろん、税法関係の科目の学習にも大いに役立ちます。

中小企業診断士

中小企業診断士は、経営戦略、組織・人事、マーケティング、財務・会計、生産管理、店舗運営、物流、経済学、IT、法務など幅広い知識やスキルを必要とする経営コンサルタントに関する国家資格です。経営全般に関する悩みを抱えている中小企業などの経営者からの依頼を受け、現状を調査・分析し今後の経営方針に対するアドバイスを行います。
試験科目の一つ「財務・会計」の学習範囲は、多くの部分で簿記と重なるため、スムーズに学習を進めることができます。

ファイナンシャル･プランナー

住まいや教育、老後など将来のライフプランニングに応じた資金計画やアドバイスを行う『お金のプロフェッショナル』です。金融商品、株式、税制、不動産、住宅ローン、生命保険、年金制度などの幅広い知識が必要です。企業の総務・経理部門や、銀行・証券・保険などの金融業界でのコンサルティングなど、活躍の場は多様です。
全ての級で必須の試験科目「タックスプランニング」（税法）に簿記の知識が役立つほか、仕訳問題も出題されるため、簿記学習者には有利といえます。

不動産鑑定士

不動産鑑定士は、不動産の適正な価値を判定するプロフェッショナルです。依頼者からの様々なニーズに応じて、土地や建物の価格をはじめ、借地権などの複雑な権利関係や、地代などの様々な経済価値を判定し、「鑑定評価報告書」を作成します。これは、不動産鑑定士のみが行うことができる独占業務で、不動産の適正な価格形成を担っています。
簿記の知識がベースにあれば、論文式試験の出題科目の一つである「会計学」の理解がより早く進みます。

割引提携講座

法政大学キャリアセンターでは、大手専門学校・資格学校と提携し、上記の資格をはじめとする様々な資格講座を割引価格で受講できる「割引提携講座」を用意しています。詳しくは、「公務員講座・法職講座・割引提携講座」パンフレット(※)をご覧ください。ただし、日商簿記１級検定試験と公認会計士試験の対策講座については高度会計人育成センターにご連絡ください。
※法政大学在学生のみ閲覧できます。